

第1回褥瘡予防研究会

褥瘡予防研究会 活動報告

福祉用具部会(株)グッド・リンク グッド・リンク朝倉 吉開 翔悟

褥瘡予防研究会は、施設、在宅のケアに係る方々の褥瘡予防における知識・技術の向上を図り、地域全体で「褥瘡ゼロを目指す」活動を行っています。平成 28 年度は計 4 回の講習会を予定しており、内容は「褥瘡の基礎知識と予防ケアの基礎」「ポジショニングと移乗動作(実技)」「褥瘡における栄養管理」「体圧測定器を活用してのマットレス選定(仮)」と実践に役立つ講習を行っています。



第 1 回目の講習会は、6 月 16 日朝倉市総合市民センターにて実施致しました。医療法人社団シマダ 嶋田病院 皮膚・排泄ケア認定看護師の池田由美様を講師に迎え、「褥瘡の基礎知識と褥瘡予防ケアの基礎」をテーマとした講習会を行って頂きました。写真付きの症例を多く入れていただき、褥瘡予防ケアの方法や職種ごとの役割、他職種との連携の重要性について学ぶことができ、参加者は熱心に受講されていました。

講習会が終わった後も、参加者から困難な事例の個別相談も行われました。褥瘡は予防が重要となります。そのためには、褥瘡に関する知識や技術を深め、リスクアセスメントを行い、個々に応じた予防ケア、連携が必要です。今後も褥瘡予防研究会では、地域全体で褥瘡ゼロを目指し、褥瘡予防に役立つ活動を行っていきたいと思いますので、会員の皆様のご協力よろしくお願い致します。

協議会ホームページへ今すぐアクセス! <http://asakura.in>

朝倉介護

検索

事業報告Ⅰ 災害時における対応に関する協定について

介護老人福祉施設部会 特別養護老人ホームえびね荘 竹上 浩樹

平成 28 年 8 月 18 日（木）第 2 回福祉施設部会・施設長との合同部会において「災害時における対応に関する協定書」を締結させて頂きました。この協定は、火災・地震及び風水害等の災害が発生した場合における協定施設間の円滑な連携及び対応が図られるよう必要な事項を定めたものです。「災害時対応協定書に係る情報共有書」を作成し、人的支援・物的支援・受け入れ支援・防災内容を協定施設間に相互に共有することにより、有事の際に素早く対応できるようにしています。地震や大雨・台風など昨今の災害は類を見ないほどの大災害が発生しています。事前に備えることにより被害を最小限に食い止め、施設に関わる全ての方の生命・財産が守れるよう取り組んでいきます。



「三沢長生園様との協定締結の様子」

事業報告Ⅱ 第 1 回スタッフセミナー

福祉職員のメンタルヘルス 介護老人保健施設 デイケアセンターうらうめ 金子 文代

平成 28 年 7 月 8 日（金）、朝倉市総合市民センターにて、平成 28 年度第 1 回スタッフセミナーが開催されました。今回は、久留米大学 准教授 片岡靖子氏を講師に迎え、福祉職員のメンタルヘルスについて講演して頂きました。

平成 24 年労働者健康状況調査によると、強い不安、悩み、ストレスを感じる事柄の内容をみると、「職場の人間関係の問題」が最も多いということでした。また「労働安全衛生法」が改正され、労働者が 50 人以上いる事業場では、平成 27 年 12 月から毎年 1 回、ストレスチェック検査を全ての働く人に対して実施することが義務づけられました。今回の講演の目的は、認知的評価と対処能力の勉強ですと話されたように、ストレスの種類とその対処方法を分かりやすく講義されました。前回（平成 25 年 9 月）の片岡氏の講演で勉強したリフレーミングを再度話して頂き、対処能力（コーピング）を高めることができました。

リフレーミング

- ・物事を見たり考えたりするときの枠組み（フレーム）を変える方法。
- ・ものの見方、考え方が変わるだけで、そこから出てくる行動も変わってくる。
- ・リフレーミングは、人や組織、地域の問題を解決することにもつなげることができる。

<例>

コップの中に、半分のジュースが残っています。あなたはどのように表現しますか？

⇒コップに半分しかジュースが入っていない！

⇒コップに半分もジュースが残っている！

アサーション

- ・環境に働きかけて環境を変える。適切（爽やか）な自己主張

<例>上司から頼まれた時、あなたはどのように返事しますか？

※ノンアサーティブ⇒アサーティブ

上司：「今、大丈夫？この書類を仕上げてください。」

貴方：「今ちょっと、忙しいんで・・・」

⇒①状況を伝える「今、この仕事を終えなくてはならないんです。」

貴方：「あ、はい、わかりました。」

⇒②譲歩する「今日は無理ですので、明日なら大丈夫ですが・・・」

貴方：「それは、Bさんの仕事です。」

⇒③相談する「明日で間に合いますか？」



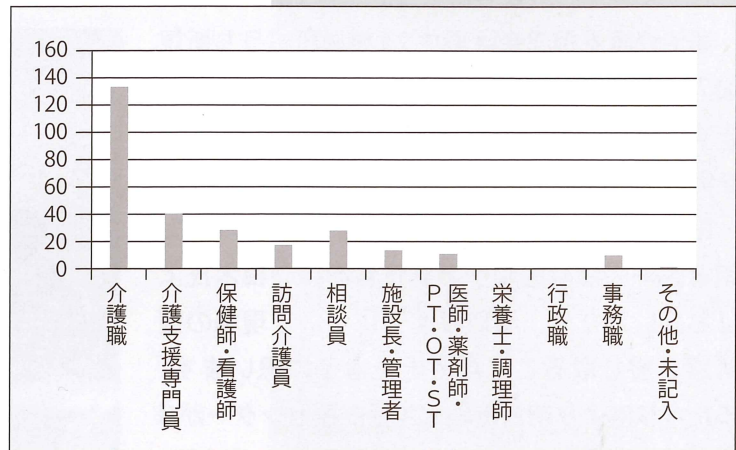
「講師 片岡 靖子氏」

平成 28 年度 第 1 回スタッフセミナーアンケート結果

2016/7/8 朝倉総合市民センター

(1) 参加者の状況

参加者数 288 名		
一般		
1	介護職	134
2	介護支援専門員	40
3	保健師・看護師	28
4	訪問介護員	18
5	相談員	27
6	施設長・管理者	16
7	医師・薬剤師・PT・OT・ST	12
8	栄養士・調理師	1
9	行政職	0
10	事務職	10
11	その他・未記入	2
合計		288



(2) アンケートの集計

① 勤務されている業種

業 種	
居宅介護支援	30
訪問介護・入浴	25
訪問看護	5
訪問リハビリ	4
通所介護	34
通所リハビリ	15
支援センター	9
居宅療養管理	3
グループホーム	23
介護福祉施設	36
介護保健施設	25
小規模多機能	4
病院・医院	2
行政	0
福祉用具貸与・住宅改修	4
その他	4
未記入	7
合計	230

② 現在の職種

職 種	
介護職	100
相談員(病院・施設・福祉用具貸与)	21
訪問介護員	16
介護支援専門員	37
看護師	18
保健師	0
OT	2
PT	6
ST	0
医師	1
薬剤師	0
栄養士	0
調理師	1
管理者	12
事務職	9
行政職	0
その他	3
未記入	4
合計	230

③ 経験年数

経験年数について		
1	1年未満	22
2	1年以上3年未満	30
3	3年以上5年未満	44
4	5年以上10年未満	51
5	10年以上	75
6	未記入	8
合計		230

④ 講義内容について

アンケート回答者数 230 名		
1	非常に良かった	103
2	良かった	80
3	どちらともいえない	13
4	あまり良くなかった	2
5	良くなかった	0
6	未記入	32
合計		230
アンケート回答率 79.9%		

(3) ご意見をお聞かせ下さい

① 講義内容に関するご意見	考え方、視点を少し変え、ポジティブにとらえることが出来るよう心掛けてみたいと思った。ストレスの対処のいろいろを聞き、少しでも職場や家庭などにも活用できたらと思った。
	ソリューション思考良いと思った。利用者の見方、家族とのやりとり、仕事場での人間関係全てに応用出来ると思う。
	メンタルヘルス・ストレスを分かりやすく分析し、スムーズに入って来た。認知行動療法を生かしていきたい。
	例を挙げて分かりやすく講義をされ、とても分かりやすかった。職場で活用したい。そして職場が長く仕事出来るようにしていきたい。
② 今後のスタッフセミナーの内容・在り方	講師の一方的な講義ではなく、パネルディスカッションスタイルのセミナー等出来たらと思う。例えば熊本災害地の介護施設等に、ボランティアに行った方々のディスカッション等。
	栄養と食事について。楽しいレクリエーション等。
	あーあるあると言った現場で使える考え方、技が聞きたい。学校の試験に出るような講義は現場では役に立たない。
③ 協議会への要望等	とても良かった。今後も福祉職員が集まってセミナーをきく機会を作って頂きたい。
	色々と改善すべき介護保険事情をもっと行政に協議会として訴えて行って欲しい。
	摂食・嚥下のリハビリや、体の全体のリハビリなど学びたい。
	リラクゼーション。在宅看護について。

事業報告Ⅲ 部会活動報告

居宅介護支援部会

原鶴温泉病院ケアプランサービス 坂本 文代

居宅介護支援部会は現在 22 事業所（うち新規加入 1 事業所、休会 2 事業所）で活動しております。総会員 67 名の大会で、年 4 回の定例会を実施しています。

第 1 回目は、デイホスピスでの活動について、朝倉医師会病院緩和ケア認定看護師の梅木氏よりお話いただき、看取りケアについて現場の空気感を感じ取ることができたように思います。また今年度より朝倉市地域包括支援センターが 3 箇所（秋月・甘木校区、南陵・十字校区、比良松・杷木校区）に設置されましたので各センターより紹介をしていただきました。第 2 回目はケアプランチェックについて、保険者の方に日頃の疑問について質疑応答形式で回答を頂きました。第 3 回目は高齢者の防災について消防署の方に講義頂く予定です。

定例会や各研修を通してケアマネジャー同士での意見交換を行い、事業所間のつながりを深め、個々の資質向上に努めたいと考えています。

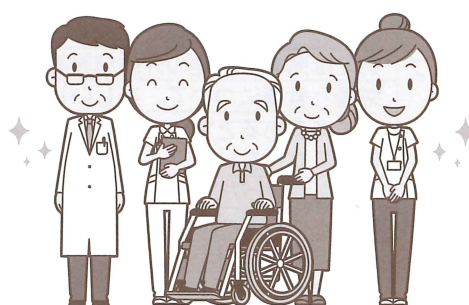


訪問リハビリ部会

甘木中央病院訪問リハビリテーション 安 智子

訪問リハビリ部会は、現在 4 事業所、5 名で活動しています。今年度の事業計画は年 4 回の定例会（6・9・12・2月）と年 1 回の合同部会を予定しています。定例会では、日頃の業務に対する意見交換や困難事例等に対する症例検討を行い、問題点や対応策等を話し合える場として活用しています。また、年 1 回の合同部会では他事業所との情報の共有・知識の向上等を目的に開催しており、今年度は訪問看護部会と合同で『呼吸リハ』の研修会を予定しています。

利用者様のニーズをしっかりと把握して、その人らしい生活の再獲得をお手伝い出来るよう専門性を活かし質の高い訪問リハビリテーションの提供ができるよう努力していきたいと思えます。



Hobby Box

～マラソン～

デイサービスセンターけんせい 志波 千加子

私にとって趣味は？特技は？なんだろう。あっちゃー“何にもない”でも私には好きなスポーツがあります。それはマラソンです。長い距離を走りしかも長時間にわたり苦しい思いをするマラソン、嫌がる方があろうかと思いますが根性で続けていくことが可能です。走っていけば必ずゴールに達するし、たとえ遅くても人に迷惑をかけるわけでもない、ただ黙々と走っていればよいからです。

長い距離を走るのはつらく、苦しい。でも風を肌で感じ自分の息づかいを聞きながら走っていると自分の身体をとっても強く感じるすることができます。苦しいとき自分の足の重さや腕の重さ等を感じそのようなつらさに耐えながらゴールをめざしひたすらに走り続けついにゴールに到達したときの気持ちはたまりません。もうこれで走らなくてすむという安堵感と走り通したという満足感が最高です。

身体を使う喜びを味あわせてくれて完走の感動を与えてくれるマラソン。走り続けていけば必ずゴールに着くというのは地道に続けることの大切さに通じると思います。これからの人生もコツコツと努力を続けていきすばらしいゴールをめざしていきたいと考えています。



My Way

朝倉医師会訪問看護ステーションの 田中 優子さん



今回紹介させていただきますのは、朝倉医師会訪問看護ステーションで管理者をされている、田中優子さんです。朝倉医師会の訪問看護ステーションは平成7年に設立して田中さんは平成26年10月から三代目の管理者として、地域の患者さまやスタッフを大切に仕事をされています。田中さんは、ほんわか柔らかな雰囲気的女性ですが、芯はしっかりとしていて責任感も強くとても頼りがいのある女性です。訪問看護を約10年間経験されていて、エキスパートナースです。生まれが大阪らしく、たまに出る関西弁はとても可愛く聞けたらラッキーですよ！

紹介文：朝倉医師会ヘルパーステーション 原 千賀子

次回は田中さんから紹介「朝倉医師会ケアプラン 樋口 秀代さん」です！

「介護を考えて」

医療法人実藤医院 實藤 俊昭

介護保険制度が始まったのは平成12年4月。この頃は病院に勤務しており、新しく始まる制度をあまり理解できていないまま主治医意見書の講習を受けた事を思い出します。急性期の病院に勤務している時は脳外科や整形外科の先生方のように主治医意見書を書くことも少なく、介護に積極的に関与することもなかったかなと思います。ところが、開業医になると、多くの患者様が介護保険サービスを利用できる年齢であり、介護を必要とする状態の患者様と毎日お会いするようになりました。医療依存度が高い患者様、介護が必要だけれど家族の協力が得られがたい等の社会状況の悪い患者様、65歳未満で特定疾病（末期がんが殆ど）のため要介護状態となられた患者様と色々な方々とお話する機会を経験させて頂きました。それまで色々な医療資源を提供してきましたが、介護という目線からの提供出来ること、必要な事を考えるのは難しい事でした。また各患者様のプライベートに何処まで介入して良いのか悩ましい事もあります。限られた時間で患者様の背景や生活状況を把握する事は困難で、他職種の方からの情報が非常に役立つことは度々経験致します。そのような患者様がデイサービス等での事を笑顔でお話しされる時は感慨深いもので、介護スタッフの皆さんに感謝しております。今後、ご本人およびご家族の方に適切な介護サービスを提供できるように勉強していきたいと思っております。

徒然日記

しのくま整形外科クリニック 理学療法士 原口 貴嗣

秋の花火

暑い夏の楽しみといえば、花火ですね。久留米や大濠などは昔から有名ですが、私は小さい頃から8月末の甘木川花火大会が一番の楽しみでした。腹に響くような音と空に広がる色。焼きイカや綿菓子の匂い。周囲の喧噪。暑くて楽しい思い出です。

けれど、今は涼しい季節になっても花火を楽しめるところが多くなりました。空気も澄んで見やすくなり、観賞には良い季節らしいですね。私の住む筑前町では、11月に“どーんとかがし祭り”が開催され、前夜祭のイベントとして花火が打ち上げられます。良い時代になったものです。

最近では、8月末は忙しくてゆっくり花火観賞というわけにはいかず、この祭りの前夜祭の花火を楽しむことが多くなってきました。近くで楽ですし、打ち上げ数も多いので見応えもありま

す。しかし、この時期は雨が多く、これまでに見ることができたのはたった2回だけ…なかなかうまくいかないものですね。

“どーんとかがし祭り”は、筑前町の合併記念として始まった祭りで、昨年は巨大イノシシが話題になり、テレビの取材も多かったそうです。また、天気にも恵まれ、祭りにもたくさんの方が訪れ大盛況だったようです。今年もたくさんの方が祭りを楽しみ、地域の行事として定着していけるといいな、と思います。そして、前夜祭の花火も規模が大きくなり、“筑前町は秋にすごい花火が上がるらしいね”などと評判になるといいな、と、密かに願っております。

さて、今年の天気はどうなるでしょうか？晴れると良いですね。皆さんも楽しみにして待っていただければ、と思います。

編集後記

あっという間に今年も半分が過ぎようとしています。今年の夏はリオデジャネイロ・オリンピックが開催されました。連日の日本選手の活躍・メダルラッシュに、寝不足や朝から涙腺が緩んでしまう、なんて方も多かったのではないのでしょうか。私が最も感動したのは、陸上男子400mリレーでの銀メダルです。10秒を切るようなスター選手はいないものの、バトンパスに力を注ぎ最終ランナーがジャマイカの選手とほぼ同時に最終コーナーを回った時は思わず叫んでしまいました。私たち協議会も保健・医療・福祉・行政とバトンを渡し、目指す「高み」に向かって取り組んでいきましょう！皆様からのご意見もお待ちしております！（広報部・真田）

事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局

〒838-0022 福岡県朝倉市城 859

社会福祉法人 宏志会

介護老人福祉施設 きらく荘

TEL(0946)21-1833 FAX(0946)21-1883

編集/発行所

朝倉介護保険事業者協議会 広報部

〒838-1702 福岡県朝倉郡東峰村福井 942-1

社会福祉法人 朝倉恵愛会

介護老人福祉施設 宝珠の郷

TEL(0946)72-9811 FAX(0946)72-9813

印刷/井上総合印刷株式会社